

令和5年度の事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日

特定非営利活動法人 静岡団塊創業塾

コロナ禍が一段落し、“くれば”での「リアルな居場所」活動と、ビデオ会議システム“ZOOM”を使った「オンライン居場所」を定期開催し、『ハイブリッド型居場所』を継続した。3月には居場所「くれば」は開館10周年を迎え、会員の皆さんとお祝いの交流会を行った。

令和5年度の特記事項は、静岡市より受託した三年目の「ITリテラシー能力向上支援業務」を完遂できたことである。一、二年目は“ZOOMの使い方”をテーマにしたが、三年目は“LINEの使い方”に特化し、自治会活動への活用を促すことができた。社会的課題としてDXが挙げられる中、シニアのデジタルデバインド対策に関わる事ができた。

屋外活動「くればウォーキング」も継続開催した。「地域デビュー支援事業」は、藤枝市と静岡市で、講演やワークショップを開催できた。

1. 特記事項

(1) DX支援事業

静岡市事業：情報リテラシー向上業務（受注金額：2,576千円）【デジタル化推進課主催】

下記区分で『楽しいスマホの使い方』セミナーを行った。

テーマ①：市内三か所の生涯学習施設において各自のスマホを使った講座・相談会の実施

テーマ②：市内中山間地の自治会でのスマホを使った講座・相談会の実施

テーマ③：テーマ①②の講座における受講者のアフターフォローの実施

※実施結果は下表のとおり。

内容	実施回数	延べ参加人数
① 一般対象（3回シリーズ×3, 2回シリーズ×3）	15	166
② 中山間地向け（3回シリーズ×2, 1回×2）	8	81
③ フォローイベント（オンライン交流会）	3	7
フォローイベント（IT村）	6	57
合計	32	311

事前に会員有志で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、打合せしたほか、メンバーには現地体験会にてアシスタント役を務めていただいた。一部の方には体験談をミニ講演してもらった。メイン講師は「しずおかパソコンサポート」を運営する会員の北楯、勝田両名にお願いした。

(2) 「くれば」ウォーキング活動

雨期と暑い時期を避け、ウォーキング活動を継続した。参加をきっかけに入会される方もおられ、屋外交流の場として価値がある。令和5年度は7回実施し、県内各地に足跡を残しつつある。

2. シニアライフ支援センター「くれば」運営

(1) ミニセミナー・サロン事業

リアル居場所プログラムとしては火曜日に「IT村」と「パソコン・スマホ個人相談」、水曜日には「でん伝体操(ハイブリッド)」と「健康麻雀」、木曜日には「テクノロジーカフェ」を隔月開催、「読書感想会」を開始した。「くれば」開館以来継続してきた「しあわせ学」は事情により一時中断中。

「オンライン居場所(ZOOM寺子屋)」プログラムとしては、毎週金曜日の19時半から「朗読会(語り上手聞き上手)」「川柳会」「ワンポイントITアドバイス」等、定期的で開催した。それぞれの進行役は杉山吉、新海、北楯さんが担当。「長生きを喜べるために」は一時中断中。

(2) 歌声喫茶

「新さんの歌声喫茶」は「くれば」で継続開催、令和5年度は合計10回行った。

(3) でん伝体操活動

毎週水曜日の10時～11時に継続開催、7年が経過した。ハイブリッド方式で継続中。

(4) 自治会研究班活動

令和5年2月に活動を再会し、二ヶ月に1回集まり情報交換を継続した。全国的に自治会活動は曲がり角にあると言われ、我々なりに勉強会を行っている。

(5) ライフシフトらぼ

有志の参加を募り毎月第三日曜日の14時からZOOM開催継続中。定年前の方にどんなメッセージを発信していくべきか検討中。

(6) ものづくり教室

ものづくりグループの活動として適宜開催。小学校児童クラブ等で実績を残した。

3. 地域デビュー支援事業

令和5年度の本事業の実施結果を下表に示す。すべて講師は原田が担当。

(1) セミナー形式で実施分

場所	日程	イベント名	備考
藤枝市	10月27日	稲葉地区ボランティア講座	担い手不足解消がテーマ 参加者約40名。
〃	2月16日	藤枝地区ボランティア講座	同上 参加者約50名。

(2) 講演形式で実施分

場所	日程	イベント名	備考
藤枝市	5月27日	脳科学研究会定例会	テーマ：壮年期を豊かにする秘訣とは 参加者約50名。
静岡市	1月30日	市域協議体研修会	地域包括ケアシステム担当者研修 参加者約40名。

4. 情報発信活動

(1) メールマガジン発信

毎月25日に継続発行し、現在109号となった。ZOOMイベントの実績や、各種行事等の告知をしている。我々の活動に関心のある方々や退会者への情報伝達手段となっている。

(2) ブログ発信

継続しているオンライン居場所活動を中心に10件/月程度アップしている。ホームページにリンクするので一般の方の目に触れる可能性も高い。

(3) 「くれば」予定表の配架

リアル（くれば）とオンライン（ZOOM）居場所を併記した予定表のフォーマットで配架中。

(4) ポータルサイトでの発信

静岡市運営「ここからネット」、しずおか健康長寿財団運営「サポーター情報」、等でも発信中。

5. 会員数の推移

一年間で9名の方が入会されたが13名の方が退会され86名となった。（令和6年5月11日現在）今後会員の高齢化に伴い減少傾向が続くと思われる。

静岡団塊創業塾が従来から取り組んでいる4仕掛け（会って、繋がって、磨いて、輝く）については、下記のような実績を残した。

(1) 人生100年サミット

令和6年1月に第6回を実施した。DX関係事業を推進中のため、テーマは「新しいテクノロジーは私たちの幸福度を高められるか？」とし、基調講演講師は静岡大学准教授の須藤智氏にお願いし、ハイブリッド方式で実施した。会場約30名、オンライン約20名、計約50名が参加し、盛況のうちに終了した。

(2) 定期交流会

くれば閉館のため、リアルな交流会は実施できなかった。その代わりにZOOMで行った、「オンライン居場所」活動がその役割を果たしたと考えている。隔週火曜日に行っている「IT村」ではスマホやパソコンに関するもの以外のおしゃべりも盛んで、交流会の側面も生まれている。

(3) 磨きあい塾

前記「静岡市リテラシー向上業務」を遂行するために、「くれば」にてセミナーリハーサルを3回、ZOOMにてIT体験談プレゼンを1回、計4回行った。実際に試行することで受講者目線の意見が出されセミナー構想、講師スキルを磨けた。協力していただける会員のありがたさを実感した。

(4) 熟年セミナー

3-(1)(2)のような「地域デビュー支援事業」を実施。受託数を増やすことが課題である。

上記事業を行うために、原則として第一土曜日午後に定例理事会を12回（「くれば」で4回、オンライン（ZOOM）で8回）行った。

1. 居場所運営事業写真 (リアル+オンライン)



「特別IT村」



「くれば十周年記念交流会」

2. DX支援、地域デビュー支援事業写真



静岡市「情報リテラシー能力向上支援業務」



藤枝市「ボランティアを楽しもう」講演会

3. その他事業の写真



「くれば」ウォーキング



第6回人生100年サミット

「新しいテクノロジーは私たちの幸福度を高められるか？」